

公益社団法人中央畜産会における公益充実資金

○令和7年度の公益充実資金

(1) 7年度末における公益充実資金の状況

前期末残高	取崩額(合計値)	積立額	今期末残高	積立限度額
13,550,000 円	896,000 円	16,846,000 円	29,500,000 円	135,000,000 円

公益充実活動の名称	周年記念事業積立預金
当該活動の内容	本会は令和7年度をもって創立70周年を迎え、これまで畜産経営支援事業、家畜畜産物衛生指導事業等の事業の実施を通じ、我が国畜産の振興に資してきた。これを記念して、これまでの取組とその成果を広く発信し、周年記念事業(公益目的事業)を実施することにより、我が国の畜産の振興に資する。また、令和17年度には80周年を迎えることから、17年度以降においても同様の事業を実施する。これに必要となる資金に充てるため、周年記念行事積立預金を設置する。
実施時期	令和8年度、令和17年度
所要額の算定方法	積立預金の規模:17,000千円(記念誌の発行:10,000千円、セミナーの開催等:7,000千円)

公益充実活動の名称	全国共進会積立預金
当該活動の内容	5年ごとに開催される、和牛及びホルスタインの全国共進会において、畜産経営者等を対象とした経営相談、セミナー、情報提供等を行う全国家畜共進会活用(公益目的事業)を実施し、畜産経営の改善を支援することにより我が国の畜産の振興に資する。これに必要となる資金に充てるため、全国共進会積立預金を設置する。
実施時期	令和9年度、令和12年度
所要額の算定方法	積立預金の規模:18,000千円(開催時の出展料等:10,000千円、事前準備等:8,000千円)

公益充実活動の名称	畜産総合展示会積立預金
当該活動の内容	我が国の畜産業が抱える諸課題に対処するため、国際養鶏養豚総合展が築いてきた実績を基に、本総合展示会を3年毎に開催することにより畜産業に係る全ての関係者が一堂に会し、最先端の技術・情報等を共有し、新たなイノベーションの創出、研究開発の促進、若手人材の育成を図り、日本の畜産業の更なる発展に資する。これに必要となる資金に充てるため、畜産総合展示会積立預金を設置する。
実施時期	令和9年度、令和12年度及び令和15年度
所要額の算定方法	積立預金の規模:100,000千円(令和9年度開催分:30,000千円、令和12年度開催分:30,000千円、令和15年度開催分:40,000千円)

(2) 前年度末における公益充実資金の状況

前年度残高	積立限度額
13,550,000 円	30,000,000 円

公益充実活動の名称	周年記念事業積立預金
当該活動の内容	本会は令和7年度をもって創立70周年を迎え、これまで畜産経営支援事業、家畜畜産物衛生指導事業等の事業の実施を通じ、我が国畜産の振興に資してきた。これを記念して、これまでの取組とその成果を広く発信し、周年記念事業(公益目的事業)を実施することにより、我が国の畜産の振興に資する。
実施時期	令和8年度
所要額の算定方法	積立預金の規模:13,000千円(記念誌の発行等:7,500千円、功労者の表彰:5,500千円)

公益充実活動の名称	全国共進会積立預金
当該活動の内容	5年ごとに開催される、和牛及びホルスタインの全国共進会において、畜産経営者等を対象とした経営相談、セミナー、情報提供等を行う全国家畜共進会活用(公益目的事業)を実施し、畜産経営の改善を支援することにより我が国の畜産の振興に資する。これに必要となる資金に充てるため、全国共進会積立預金を設置する。
実施時期	令和4年度、令和7年度
所要額の算定方法	積立預金の規模:17,000千円(会場設営等:9,000千円、資料作成等:8,000千円)